

令和4年度採用 中学校専門 社会

志願種別	
受験番号	

【11】 次の円グラフは、2017年の世界全体の面積と人口について、州ごとの割合を示したものである。ア～オの州について、正しい組合せはどれか、下の①～⑤の中から一つ選べ。

面積 (%)

人口 (%)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	アフリカ	北アメリカ	南アメリカ	オセアニア	ヨーロッパ
②	アフリカ	南アメリカ	北アメリカ	ヨーロッパ	オセアニア
③	ヨーロッパ	アフリカ	北アメリカ	南アメリカ	オセアニア
④	北アメリカ	アフリカ	南アメリカ	オセアニア	ヨーロッパ
⑤	南アメリカ	北アメリカ	アフリカ	ヨーロッパ	オセアニア

- 【12】 次の表は、地図上におけるア～オの国のエネルギー自給率を示したものである。
 表中の（ A ）～（ E ）に当てはまる国名の組合せとして正しいものを、下の①～⑤の中から一つ選べ。

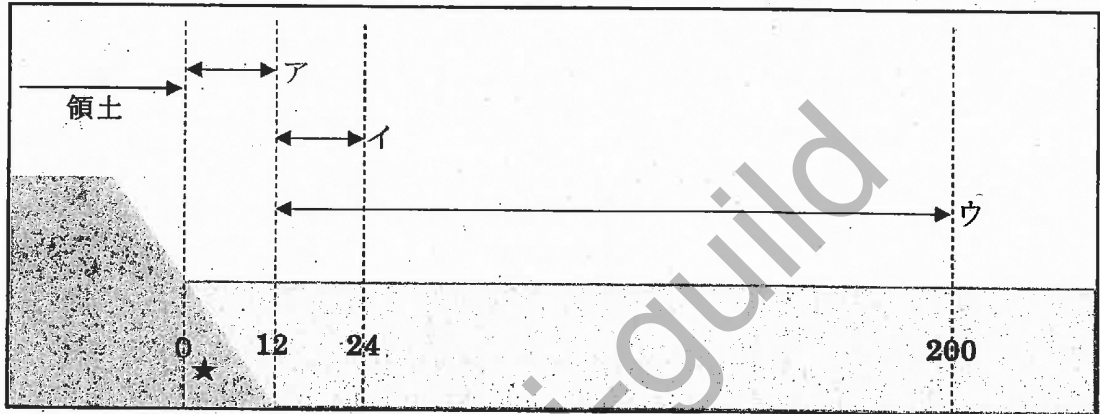
著作権保護の観点により、掲載いたしません。

※一次エネルギー…石炭・石油・天然ガスなどの化石燃料に加え、水力・原子力・地熱・
 薪炭など、主に加工されない状態で供給されるエネルギー

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

	A	B	C	D	E
①	イ	ウ	ア	オ	エ
②	イ	ウ	エ	ア	オ
③	ウ	イ	オ	エ	ア
④	イ	ウ	オ	ア	エ
⑤	ウ	イ	エ	ア	オ

【13】 次の図は、日本の領土と沿岸（干潮時の海岸線）からの距離を示したものである。図中のア～ウに当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑤の中から一つ選べ。



※ 数字は、沿岸（★干潮時の海岸線）からの距離（単位：海里）

	ア	イ	ウ
①	接続水域	領海	公海
②	領海	接続水域	排他的経済水域
③	接続水域	排他的経済水域	公海
④	領海	公海	排他的経済水域
⑤	接続水域	領海	排他的経済水域

【14】 次の表は、日本、中国、インド、ロシア、アメリカ合衆国の一人あたりの二酸化炭素排出量を示したものである。

表中の（ア）～（オ）に当てはまる国の組合せとして正しいものを、下の①～⑤の中から一つ選べ。

主な国の一人あたりの二酸化炭素（CO₂）排出量（CO₂換算）



	ア	イ	ウ	エ	オ
①	中国	日本	インド	ロシア	アメリカ合衆国
②	インド	アメリカ合衆国	中国	日本	ロシア
③	アメリカ合衆国	ロシア	インド	日本	中国
④	インド	日本	中国	ロシア	アメリカ合衆国
⑤	中国	アメリカ合衆国	インド	ロシア	日本

【15】 次のア～エの各文は、アジア・太平洋圏を中心とした経済連携の動きについて説明したものである。ア～エを年代の古い順に正しく並べたものを、下の①～⑤の中から一つ選べ。

ア アジア太平洋経済協力会議（APEC）が結成された。

イ ASEAN 自由貿易地域（AFTA）が発足された。

ウ ASEAN 経済共同体（AEC）が発足された。

エ 環太平洋パートナーシップ（TPP）協定が締結された。

① ア → イ → エ → ウ

② ア → ウ → イ → エ

③ イ → ア → ウ → エ

④ ア → イ → ウ → エ

⑤ イ → エ → ウ → ア

- 【16】 次の表は、日本の発電方法と電力量について示したものである。
 表中の（ア）～（エ）に当てはまる発電方法の組合せとして正しいものを、下の①～⑤の中から一つ選べ。

日本の発電電力量（会計年度）（単位 百万 kwh）

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

	ア	イ	ウ	エ
①	水力	火力	原子力	地熱
②	原子力	火力	水力	地熱
③	水力	火力	地熱	原子力
④	原子力	水力	地熱	火力
⑤	火力	水力	原子力	地熱

【17】 次のア～オは、日本の国宝の建築物を示したものである。ア～オが建てられた時代を古い順に正しく並べたものを、下の①～⑤の中から一つ選べ。

ア 閑谷学校講堂（岡山県備前市）

イ 白水阿弥陀堂（福島県いわき市）

ウ 永保寺観音堂（岐阜県多治見市）

エ 大浦天主堂（長崎県長崎市）

オ 瑠璃光寺五重塔（山口県山口市）

① ウ → エ → イ → ア → オ

② イ → ウ → オ → ア → エ

③ ウ → イ → エ → ア → オ

④ イ → オ → ア → ウ → エ

⑤ オ → イ → ウ → ア → エ

【18】 次のア～エの文のうち、鎌倉時代の新しい仏教について正しく説明したものを「正」、誤っているものを「誤」とした場合、正しい組合せはどれか、下の①～⑤の中から一つ選べ。

ア 道元は、阿弥陀如来の救いを信じる心を強調した浄土真宗を、農村に広めた。

イ 法然は、一心に「南無阿弥陀仏」と念仏を唱えれば、誰でも極楽浄土に生まれ変われると説いて浄土宗を開いた。

ウ 栄西は、念仏の札を配って教えを広め、時宗を開いた。

エ 日蓮は、法華経の題目を唱えれば人も国も救われると説き、日蓮宗を開いた。

	ア	イ	ウ	エ
①	正	正	正	誤
②	正	誤	正	正
③	正	誤	正	誤
④	誤	正	誤	正
⑤	誤	誤	誤	正

【19】 次の資料に関連した出来事を下の①～⑤の中から一つ選べ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- ① 山城の国一揆
- ② 正長の徳政一揆
- ③ 伊賀惣国一揆
- ④ 加賀の一向一揆
- ⑤ 嘉吉の徳政一揆

【20】 次の表は、日本における条約改正への歩みをまとめたものである。表中の(ア)～(エ)に当てはまる担当者名の組合せとして正しいものを、下の①～⑤の中から一つ選べ。

条約改正への歩み

年代	担当者	改正案の内容	経過・結果
1872	※1	おもに法権回復	米欧巡回，米で改正交渉に入るが，途中で断念
1878	(ア)	税権回復	米，賛成，英・独などの反対により失敗
1882 ～1887	(イ)	法・税権の一部回復を主眼，外国人判事任用，内地雑居	欧化政策（法典編纂・鹿鳴館），改正予備会議，国内の反対で失敗
1888 ～1889	(ウ)	外国人判事を大審院に限る	国別交渉，外国人判事の大審院任用問題で挫折
1891	※2	法権の回復・税権の一部回復	英は同意。大津事件で引責辞任，挫折
1894	(エ)	法権の回復・税権の一部回復	日英通商航海条約締結

※1，※2については，作問の都合上省略してある。

	ア	イ	ウ	エ
①	寺島宗則	井上馨	大隈重信	陸奥宗光
②	岩倉具視	井上馨	陸奥宗光	寺島宗則
③	岩倉具視	陸奥宗光	青木周蔵	小村寿太郎
④	岩倉具視	陸奥宗光	大隈重信	青木周蔵
⑤	寺島宗則	井上馨	青木周蔵	陸奥宗光

【21】 次のア～エの各文は、第二次世界大戦が始まった頃の世界の国々の動きについて説明したものである。ア～エを年代の古い順に正しく並べたものを、下の①～⑤の中から一つ選べ。

ア アメリカ・イギリスは、大西洋憲章を発表した。

イ ドイツ・イタリアは、日本と日独伊三国同盟を結んだ。

ウ 日本は、ソ連と日ソ中立条約を結んだ。

エ ドイツは、ソ連と独ソ不可侵条約を結んだ。

① イ → エ → ア → ウ

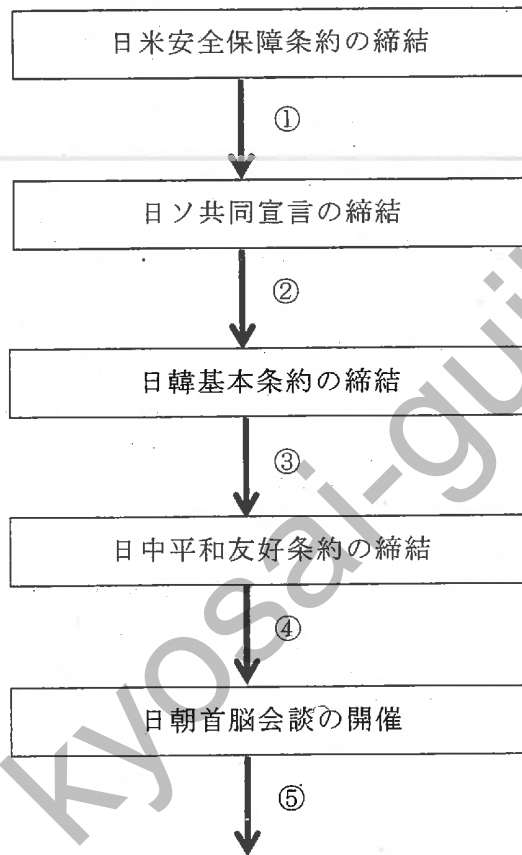
② イ → ウ → エ → ア

③ エ → イ → ウ → ア

④ ウ → エ → ア → イ

⑤ エ → ウ → イ → ア

【22】 アジア初の「東京オリンピック・パラリンピック」が開催された時期を、下の①～⑤の中から一つ選べ。



【23】 次の1～17は、国際連合に加盟する193か国の全てが賛成して採択された持続可能な開発目標（SDGs）である。（ア）～（エ）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑤から一つ選べ。

- | | | |
|----------------------|-----------------------|-------------------|
| 1 (ア)をなくそう | 2 飢餓をゼロに | 3 すべての人に健康と福祉を |
| 4 質の高い教育をみんなに | 5 ジェンダー平等を実現しよう | 6 安全な水と(イ)を世界中に |
| 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 8 働きがいも経済成長も | 9 産業と技術革新の基盤をつくろう |
| 10 人や国の不平等をなくそう | 11 住み続けられるまちづくりを | 12 つくる責任つかう(ウ) |
| 13 気候変動に具体的な対策を | 14 (エ)の豊かさを守ろう | 15 陸の豊かさも守ろう |
| 16 平和と公正をすべての人に | 17 パートナリーシップで目標を達成しよう | |

	ア	イ	ウ	エ
①	紛争	トイレ	権利	海
②	紛争	食べ物	責任	自然
③	貧困	食べ物	権利	海
④	貧困	トイレ	責任	海
⑤	貧困	食べ物	権利	自然

【24】 次のア～エは、日本国憲法、マグナ・カルタ、アメリカ独立宣言、フランス人権宣言のいずれか（一部抜粋）である。ア～エを年代の古い順に正しく並べたものを、下の①～⑤の中から一つ選べ。

ア	国民は、すべての基本的人権の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する基本的人権は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与えられる。
---	---

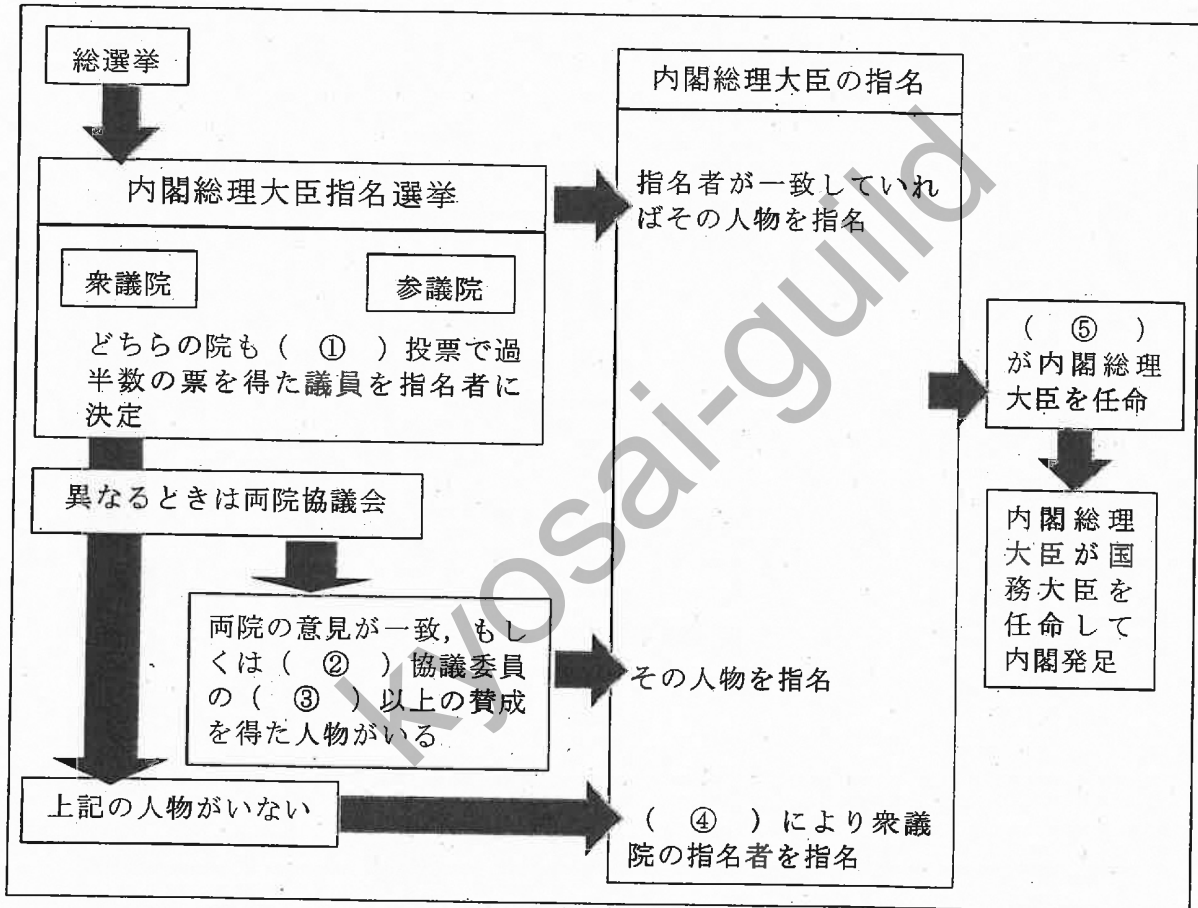
イ	我々は以下のことを自明の真理であると信じる。人間はみな平等に創られ、ゆずりわたすことのできない権利を神によってあたえられていること、その中には、生命、自由、幸福の追求がふくまれていること、である。
---	--

ウ	いかなる自由民も、正当な裁判または国の法律によらなければ、逮捕や監禁をされたり、土地をうばわれたり、法による保護をうばわれたり、国外に追放されたり、その他の方法によって権利を侵害されたりすることはない。
---	---

エ	人は生まれながらに、自由で平等な権利を持つ。社会的な区別は、ただ公共の利益に関係のある場合にしか設けられてはならない。
---	---

- ① ウ → イ → ア → エ
- ② イ → ウ → エ → ア
- ③ ウ → イ → エ → ア
- ④ イ → ウ → ア → エ
- ⑤ ウ → ア → イ → エ

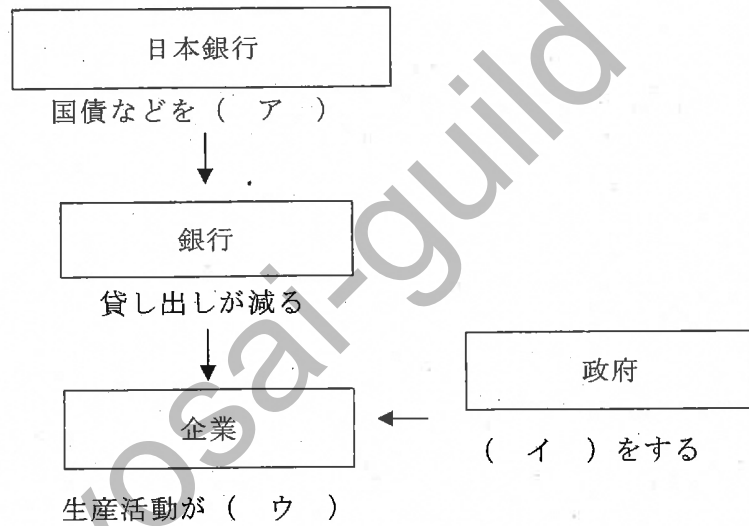
【25】 次の図は、総選挙から内閣が発足するまでの流れを示したものである。図中の(①)～(⑤)に当てはまる数字や語句について、誤っているものを、下の①～⑤の中から一つ選べ。



- ① 無記名
- ② 出席
- ③ 3分の2
- ④ 衆議院の優越
- ⑤ 天皇

【26】 次の図は、好景気（好況）のときにおける、日本銀行の金融政策（公開市場操作）と政府の財政政策について示したものである。（ア）～（ウ）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑤の中から一つ選べ。

<好景気（好況）のとき>



	ア	イ	ウ
①	買う	減税	活発になる
②	売る	増税	活発になる
③	買う	減税	縮小される
④	売る	増税	縮小される
⑤	買う	増税	活発になる

【27】 アメリカ合衆国が採用している大統領制に関する記述として誤っているものを、下の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① 立法・行政・司法の三権が分かれており、国民は議会の議員を選ぶ選挙とは別の選挙で行政の長である大統領を選ぶ。
- ② 大統領は議会を解散させる権限をもたないが、議会の不信任によって辞職させられることもない。
- ③ 大統領の任期は4年で、三選は禁止されている。
- ④ 議会で成立した法案について大統領は1回だけ拒否権を発することができる（法案拒否権）。ただし、3分の2以上で再可決されたときは自動的に法律となる。
- ⑤ 大統領は議会に法案提出権がないため、みずからの意見を議会に伝えることはできない。

- 【28】 次の表は、2018年における主な国のGDP（国内総生産）を比較したものである。表中の（ア）～（エ）に当てはまる国名の組合せとして正しいものを、下の①～⑤から一つ選べ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

	ア	イ	ウ	エ
①	中国	ドイツ	イギリス	日本
②	中国	日本	ドイツ	イギリス
③	日本	イギリス	ドイツ	中国
④	日本	ドイツ	中国	イギリス
⑤	中国	日本	イギリス	ドイツ

【29】 次の文章は、「中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省） 第2節 社会 第2 各分野の目標及び内容 2 内容」の一部である。

ア～エに当てはまる言葉の組合せとして正しいものを、下の①～⑤の中から一つ選べ。

〔歴史的分野〕

C 近現代の日本と世界

(2) 現代の日本と世界

課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導すること。

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 日本の民主化と冷戦下の国際社会

冷戦，我が国の民主化と再建の過程，国際社会への復帰などを基に，第二次世界大戦後の諸改革の特色やアの中で新しい日本の建設が進められたことを理解すること。

(イ) 日本の経済の発展とグローバル化する世界

高度経済成長，国際社会との関わり，冷戦の終結などを基に，我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し，国際社会において我が国のイが大きくなってきたことを理解すること。

イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ア) 諸改革の展開と国際社会の変化，政治の展開と国民生活の変化などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，アの(ア)及び(イ)について現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現すること。

(イ) 現代の日本と世界をウして，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現すること。

(ウ) これまでの学習を踏まえ，エとのつながり，現在と未来の日本や世界の在り方について，課題意識をもって多面的・多角的に考察，構想し，表現すること。

	ア	イ	ウ	エ
①	世界の動き	役割	認識	歴史と私たち
②	国際社会	責任	認識	現在の我が国
③	グローバル化	国力	探究	自分
④	国際社会	責任	探究	現在の我が国
⑤	世界の動き	役割	大観	歴史と私たち

【30】 次の文章は、「中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省） 第2節 社会 第2 各分野の目標及び内容 2 内容」の一部である。

ア～エに当てはまる言葉の組合せとして正しいものを、下の①～⑤の中から一つ選べ。

〔公民的分野〕

1 目標

現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要なアの基礎を次のとおり育成することを目指す。

(1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、イとの関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題についてウしたりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

(3) 現代の社会的事象について、エに見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	ア	イ	ウ	エ
①	公民としての資質・能力	個人と我が国	選択・判断	我が国
②	公民的な資質・能力	個人と我が国	正しく判断	現代社会
③	公民的資質	個人と社会	公正に判断	国際社会
④	公民的資質	我が国と外国	選択・判断	我が国
⑤	公民としての資質・能力	個人と社会	公正に判断	現代社会

kyosai-guild

kyosai-guild

令和4年度採用 岐阜県公立学校教員採用選考試験

第1次選考試験 中学校専門 社会

問題番号	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
正解	③	②	②	⑤	④	①	②	④	④	①

問題番号	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
正解	③	②	④	③	①	④	⑤	②	⑤	⑤

kyosai-guide

kyosai-guild